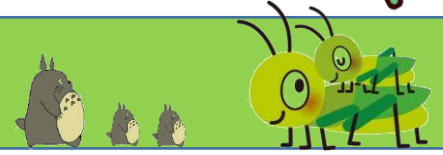




あそびは進化する



今年はなんだか夏が短い！そんな印象でしたね。お盆期間からの長雨もあって、下旬にやっと夏らしさが戻ってきた、そんな印象です。前半に思いきりプールを楽しんでおいてよかった・・・！せみの鳴き声の勢いがおさまってきて、夏の終わりを感じます。

地域のおまつりが中止になったり、雨が続きたり。おまけにコロナの心配も強まった夏。ふくろうでは、子どもたちにとっての『夏のたのしみ・特別感』を演出したプログラム盛りだくさんでした。8/7土のなつまつりは、感染対策で短い時間(30分)だったので、もう少し遊びたそうだった・・・というご感想もあり、おまつりでの遊びは、その後も自由時間にくりかえし進化しながらたくさん子どもたちに楽しんでもらいました。



ころころ
ポン！

BEFOR



AFTER

目と手を協応させ、転がってきたボールがかごに入るようにシートの端を持ってコントロール！



うさぎさんは、ドラゴンの口に興味津々です☆

おまつりなど行事で親御さんと楽しめる遊びを考える時、必ず行事の前にも子どもに遊んでもらっています。子どもの遊び方を見て、難易度や量・時間を設定します。「そうやって遊んだ方が楽しいんや！子どもならそうしたいんや！」と気づきがたくさんあります。子どもにとっても、やったことある！は、自信につながるので、行事では大切にしたいプロセスです。

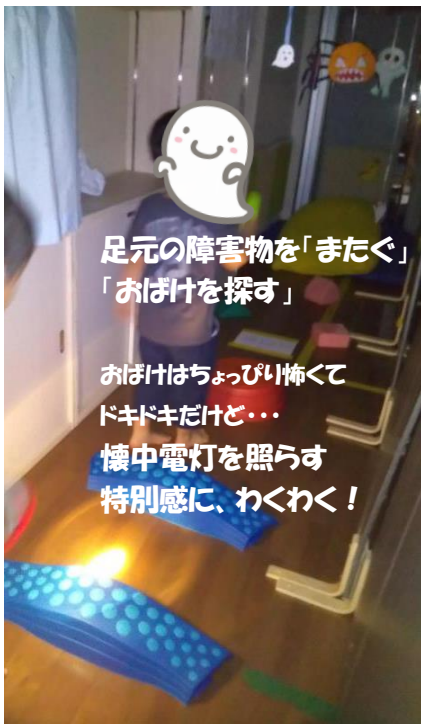
←鉄棒にシートを貼り付けただけだったのが、おまつりではドラゴンの口からボールがころころ～に大変身！子どもが口から顔をのぞかせお母さんに向かってころころ～。いいコミュニケーションにもつながりました。

↓ふくろうIT化で進化：放デイ(小中高生の部)の企画で、とまり木が、海底に大変身。セットをそのまま借りて、まるで水族館に行った気分。

プロジェクター大活躍！ちなみに、8/7のおまつりでは、お月様の部屋を真っ暗にして花火の映像を映し、花火の雰囲気を楽しんでいただきました。IT駆使しています☆

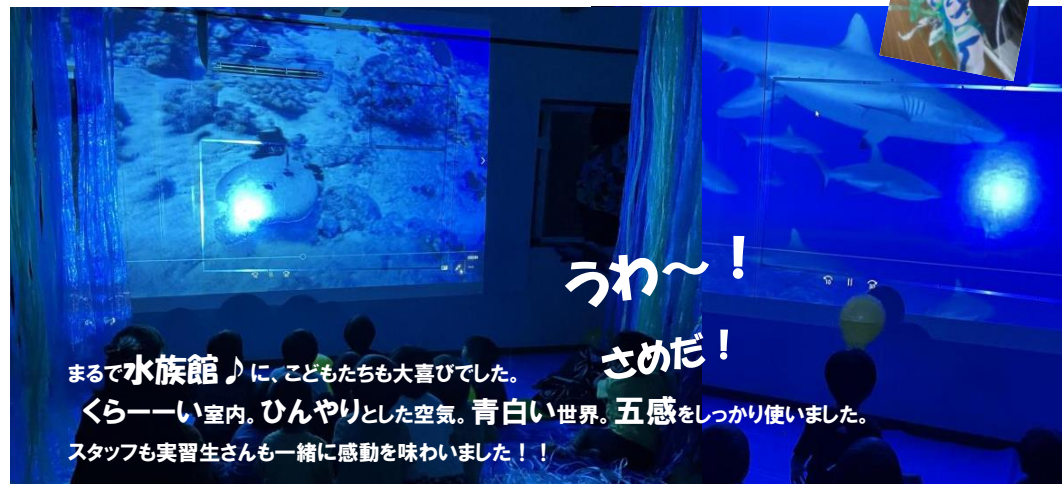


大きなボール、ずし...
自然に手・腕の力加減が変わります。
(固有覚にはたらきかけ)



足元の障害物を「またぐ」
「おぼけを探す」

おぼけはちよびり怖くて
ドキドキけど...
懐中電灯を照らす
特別感に、わくわく！



うわ～！

さめた！

まるで水族館♪に、子どもたちも大喜びでした。

くらーい室内。ひんやりとした空気。青白い世界。五感をしっかり使いました。

スタッフも実習生さんも一緒に感動を味わいました！！

←『またぎおぼけやしき』：ふくろうの療育では、『またぐ』動作を、おぼけやしきの中に入れるなどして、楽しみながら必要な運動を取り入れています。おまつりの時には、玄関のろうかに『またぐ』しかけを作ったところ、準備の段階からスタッフにもよい運動になりました(笑)。本当に効きます。またぐ時、太ももをあげる時、『腸腰筋』というインナーマッスルを使います。転びにくい体・よい姿勢をキープする筋肉をしっかり刺激。子どもたちに提供するあそびには、「させられ感なくさせたい動きを入れる」工夫もしています。

9月のおもな予定

いよいよ、外遊びに行ける季節です！
からだを少しずつ暑さに慣らしていきます。



～なつの作品～

夏の製作は、行事に向けていろんな飾りをつくりました。花火、ひまわり、おばけ、風鈴、うちわなど…。秋にも子どもたちの素敵な作品、またご紹介しますね。9月は、やっと外に行ける気温になってきますので、外あそび中心のプログラムです。

月	火	水	木	金	土
30	31	1	2 体操(年長)	3	4 A 『新聞遊び』
6	7	8	9 体操(年中)	10 避難訓練(火事)	11 B 太い・細い
13	14	15	16 体操(混合)	17	18 休み
20 敬老の日 休み	21	22 上原先生 エプロンシアター	23 秋分の日 休み	24	25 C におい
27	28 合気道(年長)	29	30	1	2

土曜日は、9/4(A)、11(B)、25(C)です。

◆9月前半、聖和短期大学から、後半は関西国際大学から実習生さんが来ます



まだまだしっかり感染対策

お盆時から、デルタ株の急な感染拡大で、兵庫県下にも緊急事態宣言が発令中です。ふくろうでの療育は、自由遊びでも運動をしっかりと保障しています。そのため、マスクは、呼吸困難の原因になったり、顔色の変化に気づきにくくなってしまいうため、着用を積極的にはすすめていません。2歳児さんは、窒息のリスクの方が高いため、着用させていません。また、マスクがずれて鼻が出てしまったり、ずれたマスクを噛んでしまっているお子さんは、はずす声かけもしています。よく噛んでしまうようなお子さんは、帰りに予備のマスクをカバンの小さいポケットに入れて下さるようお願いいたします。室内空気清浄機はウィルス除菌できるタイプのものを使用したり、車内は換気しながら走り、車内のマスクの着用は積極的に声かけし、感染対策をしています。子どもの発達を促す活動を存分に保障しつつ、『感染リスクが最小限になるように』常に危機感をもたないといけません。発達支援では、コミュニケーションがとても大事。大人が口元を見せれなくなり、子どもにとっては伝わりにくいこともきつと多々あるのだらうなと思っています。でも、もしかしたら、その分しっかり『目を見て』表情やタイミングをつかむスキルがあがっているのかも？ コロナ禍、マイナスなことばかりでなくプラスのことも考えながら、安全・安心のもとでご利用いただけるよう気をひきしめてまいります。面談は対面を控えます。マスク越しでも30分を越える会話はリスクを高めると言われているためです。引き続き、電話やZOOMを利用しつつ、緊急事態宣言があげたら、対策をとりながら対面の面談もしていきます。後期面談は前期の成長をお伝えし共有する面談となります。



今後の行事・セミナー

◆9/4(土) 若宮 Dr. 個別相談+QA セミナー(ZOOM) (セミナーは 10:30~12:00)

若宮先生は、当事業所の嘱託医で小児科のドクターです。今年度のセミナーは感染対策として ZOOM でさせていただきます。

子育てには悩みはつきもの。時おり、セミナーなどで、発達のお話を聞いたり、悩みを共有したりすることは、子育てにとって必ず力になることと思っています。



◆10/30(土) 31(日)◆

ハロウィン(親子行事)

なつまつり同様の感染対策をとっていたします。

9月末に出欠をとります！ご予定ください。



◆六甲参観は・・・◆

コロナの状況を見ながら決めていきたいと思いますが、新たな挑戦として、期間限定の動画配信なども検討しています。非接触型の新しい参観の形も模索していきます。決まりましたらお知らせします。